

# 令和3年度 中ノ沢地区情報交換会 (藻岩地区地域ケア会議)

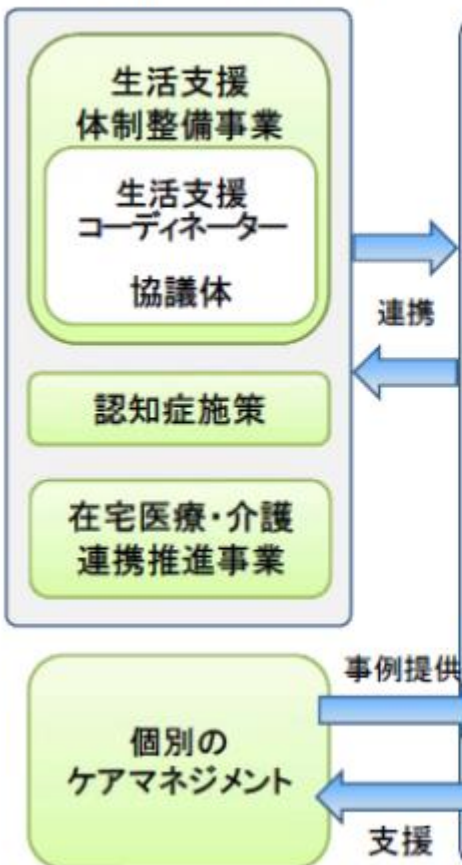


～介護予防の必要性・コロナ禍における取り組み活動再開に向けて考える～

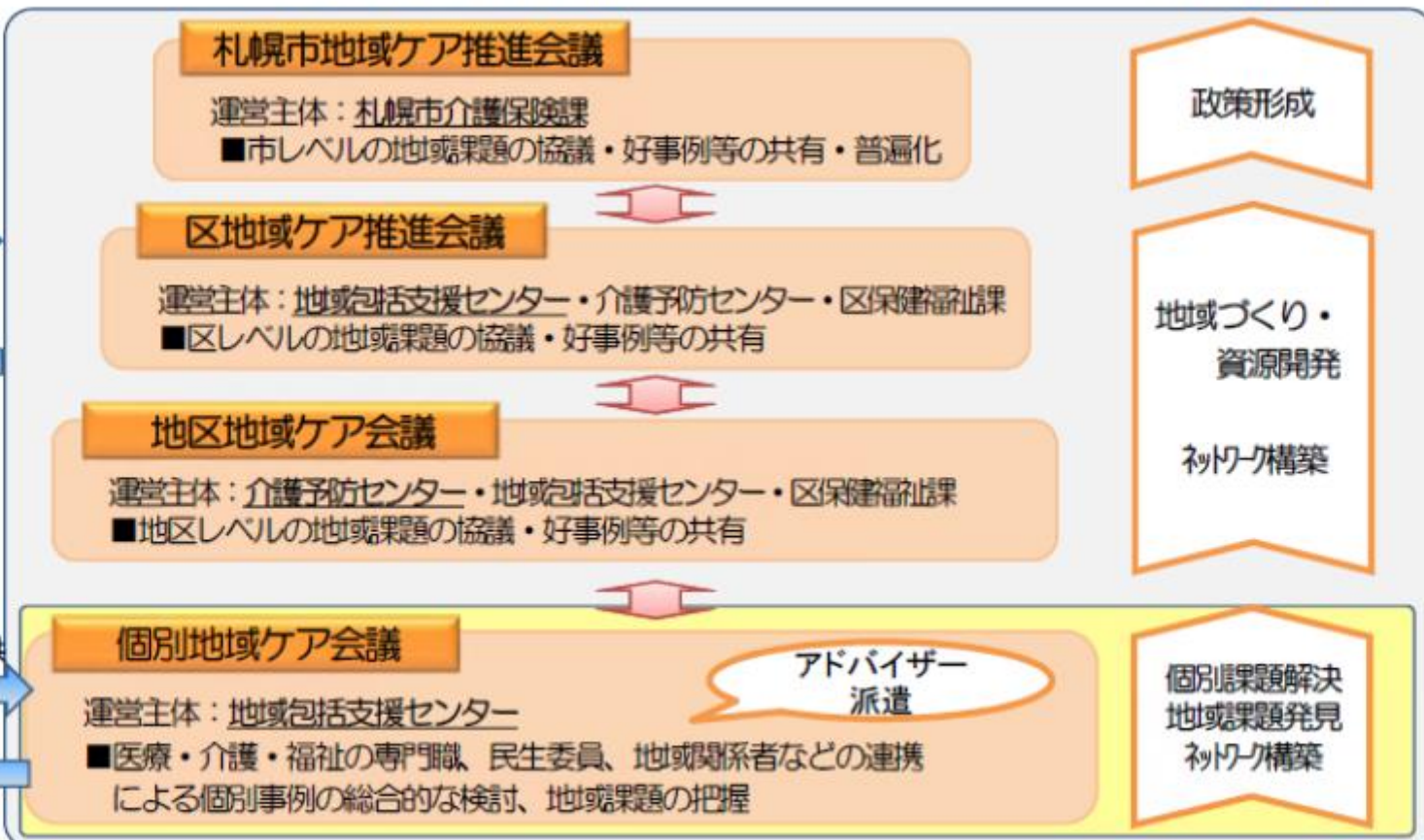
# 札幌市地域ケア会議推進事業

札幌市における地域ケア会議は、市・区・地区・個人の階層からなり「住み慣れた地域でいつまでもその人らしく暮らせる地域」の実現に向け、地域関係者、専門職、関係機関などと連携し、課題や好事例の共有・課題の解決を図るための手段として、2015（平成27）年から介護保険法に基づき開催されているものです。

## <連携が必要な関連事業等>

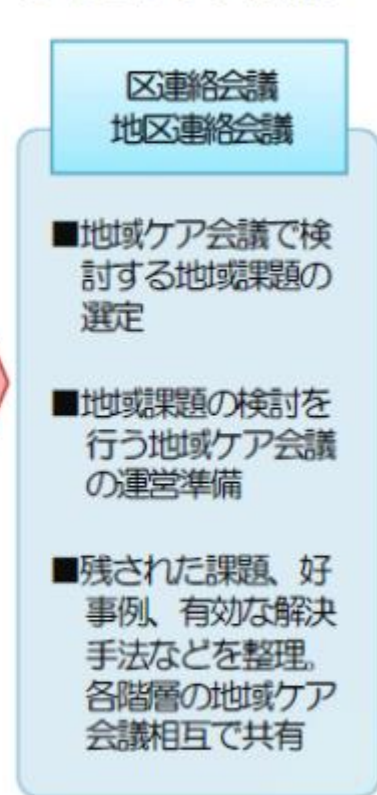


## <地域ケア会議の種別>



## <会議の機能>

## <バックアップ機能>





# 中ノ沢地区情報交換会開催までの経緯

～これまでの地区地域ケア会議～

- ・藻岩地区では、地区全体・川沿地区・北ノ沢地区の単位町内会を対象に、地域ケア会議を開催。
- ・中ノ沢地区での開催は未実施。

中ノ沢地区をもっと知りたいと、高齢化率や高齢者世帯数、認知症高齢者数、要支援・要介護認定から見えること、要介護の原因となる疾患、地域包括支援センターに寄せられた相談、介護予防の取り組みや集いの場等のデータをもとに、区保健師・区社会福祉協議会・生活支援推進員・地域包括支援センター・介護予防センターで中ノ沢地区を分析。

- ・中ノ沢地区の高齢化率は、28.2%と高いが、南区全体と比較すると低い。(R2.10 札幌市 住民基本台帳より)
- ・前期高齢者(65歳～74歳)の割合が高く、5～10年後に介護が必要になる予備軍が多い可能性がある。  
→ **介護予防が大事**
- ・地域包括支援センターに寄せられた相談の中で、認知症に関する相談は藻岩地区全体の中でも多く、重度化してからの相談が多い。
- ・感染症予防の行動自粛により、活動の機会が減少している。
- ・マンションが多いことから、介護予防活動や困った時の相談先などの情報が、不足しているのではないか。

分析結果をもとに、連合町内会会長・中ノ沢地区の会長へ相談し、中ノ沢地区情報交換会を実施。

# 情報交換会の開催概要(1)



開催日時：令和3年10月5日（火） 10：00～12：00

会 場：中ノ沢会館

参加者：連合会長、中ノ沢地区5町内会会長、溪楓会、区保健師、区社会福祉協議会、  
生活支援推進員、第2地域包括支援センター、介護予防センター 17名

テーマ：「介護予防の必要性、コロナ禍における取り組みについて」意見交換

- ・藻岩地区の高齢者状況や、中ノ沢地区の特徴、地域包括支援センターに寄せられた相談内容、コロナ禍における介護予防の取り組みについて説明。
- ・意見交換で、各町内会の活動状況や、活動再開に悩んでいる事等の情報、高齢化が進む中での見守りや、介護予防の取り組み等の周知について課題があることを把握し共有。

# 情報交換会の開催概要(2)



開催日時：令和3年12月21日（火） 10：00～11：40

会 場：中ノ沢会館

参加者：連合会長、中ノ沢地区4町内会会長、溪楓会、区保健師、区社会福祉協議会、生活支援推進員、第2地域包括支援センター、介護予防センター 17名

テーマ：「コロナ禍における介護予防の周知・活動再開にむけて考える」

個人ワーク（資料7枚目参照）後、意見交換を実施。様々な意見が出される。

## 《介護予防の周知について》

- ・「健康づくりふれあい交流会」で実施している、体力測定等を入口にするのが良い。（年齢制限に幅を持たせてはどうか。）
- ・要介護にならないために、対面での説明の必要性を感じる。
- ・若い人に向けて、介護予防や介護について目を向けてもらうには、インターネットを活用するのも良い。
- ・連合町内会で開設したホームページを活用する方法もある。



### 《困った時の相談先について》

- ・町内会と民生委員は連携が取れている。
- ・1年に1回「健康祝賀会」を開催しているが、参加対象者へ往復はがきで安否確認もしている。
- ・民生委員は、コロナ禍前より電話でのやり取りが増えた分、対象者の情報が増えた。
- ・以前、若年・障がいで見守り対象にならなかった方がいた。見守り方法がわからないケースが、他にもいるのではないか。
- ・65歳以上名簿データを町内会と民生委員で共有しているが、町内会にも限界はあるのではないかと感じる。



### 《活動再開に向けての取組み》

- ・溪楓会では、感染対策の徹底（消毒・パーテーション）をしている。通常の例会は中止し、時間帯の変更・短縮をして実施している。飲食物は個別配布。
- ・認知症についての講話会をやって欲しい。

## 《配布資料》

## 《回答結果》

チェックを  
お願いします

コロナ禍における介護予防の  
周知・活動再開に向け考える

1. 介護予防についてどのようにどのような印象をお持ちですか？

- 介護予防について知る機会がない
- 介護予防に興味がない
- どのような介護予防活動があるか分からない
- 予防活動がどこで行われているか分からない

その他 \_\_\_\_\_

2. 困った時はどこに相談していますか？

- 区・包括・予防センター等関係機関
- 社会福祉協議会
- 町内会
- 民生委員
- 近所の方
- 医療機関

その他 \_\_\_\_\_

3. コロナ禍により活動休止している予防活動について、活動再開に必要と思われることはありますか？（どの様なことがあったら、再開できそうですか？）

- 感染対策を徹底する
- 再開するための具体的な指標を知る
- 他地区の好事例活動を参考にする
- その他 \_\_\_\_\_

チェックを  
お願いします

コロナ禍における介護予防の  
周知・活動再開に向け考える

1. 介護予防についてどのようにどのような印象をお持ちですか？

- 介護予防について知る機会がない (3)
- 介護予防に興味がない (0)
- どのような介護予防活動があるか分からない (3)
- 予防活動がどこで行われているか分からない (0)

その他 (2) 誰がどこの介護予防センターに行っているかわからない/老人クラブなどの集会時にて予防センター職員による講話等でそれなりに理解できる

2. 困った時はどこに相談していますか？

- 区・包括・予防センター等関係機関 (3)
- 社会福祉協議会 (2)
- 町内会 (1)
- 民生委員 (3)
- 近所の方 (2)
- 医療機関 (2)

その他 (1) その都度内容にあわせる \_\_\_\_\_

3. コロナ禍により活動休止している予防活動について、活動再開に必要と思われることはありますか？（どの様なことがあったら、再開できそうですか？）

- 感染対策を徹底する (4)
- 再開するための具体的な指標を知る (4)
- 他地区の好事例活動を参考にする (4)

その他 (1) 活動再開OKの宣言が必要/具体的な事例が発生した場合のケースを会合等で身近な事例として、我が身として理解してもらう/他地区の事例紹介をしていただきたい/老人会は来年5月以降に健康講話を再開予定





# 今後の取り組み

- ・介護予防を知ってもらうための入口として、自分自身の健康について知る事ができ、興味も持ってもらえるような体力測定会等の開催（地区全体、又は単町単位）の意見。年齢制限を幅広にする。
- ・藻岩地区連合町内会で開設したホームページを活用する。
- ・男性にも介護予防について関心を持ってもらえるよう、男性限定の催しを企画する。（企画受付中）
- ・民生委員、福祉推進員等参加の会議に関係機関も参加できるようにPRする。



※感染対策を徹底しながら、コロナ禍でも出来ること、出来るところから取り組みをすすめる。

